

単元名: ようこそ我が家へ

科目名	韓国語	作成日	-	作成者	プロジェクトメンバー
学年/年次	-	クラス人数	-	使用教科書と課	-
話題分野	住まい	言語レベル	1	必要時間数	6時間

I 単元目標

住まいに関する語彙・表現、間取り図や絵・イラストなどを活用しながら、ホームステイの事前学習用に我が家を紹介するポスターを作成し、韓国の交流校とSkypeを利用して互いの家について紹介し合うことができる。

	言語	文化	グローバル社会	学習者	教室外	他教科
わかる						
できる						
つながる						

言語領域	文化領域	グローバル社会領域
<ul style="list-style-type: none"> ◆ Skypeを使って、韓国の高校生と自己紹介したり、お互いの発表の後、簡単な質疑応答をすることができる。 ◆ 韓国の高校生の発表を見たり聞いたりして、内容を理解することができる。 ◆ 韓国の高校生に、グループごとに「ようこそ我が家へ」のポスターを見せながら、自分たちの住まいを紹介することができる。 ◆ ホームステイに来る生徒が安心できるよう、普段家族が「我が家」で過ごす様子や一日の挨拶ことばを分かりやすく紹介することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 日本国内だけでもさまざまな家があり、間取りや用途にも違いがあることに気づき、自分の住環境について振り返ることができる。 ◆ 住環境やライフスタイルなど、日韓の異同を知り、その背景にあるものや伝統、流行について考えることができる。 ◆ 日韓の異同に配慮しながら、日本の住まいについて紹介することができる。 <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ グループで発表内容を決め、「我が家」を紹介するポスターを作成することができる。(協働) ◆ skypeを使って韓国の高校生と交流することができる。(情報活用) ◆ 省エネや耐震、防災など、世界的に環境や人間に配慮した家造りが志向されていることについて考えることができる。(知識理解) <p>★学習者のコミュニケーション能力レベルに応じて、日本語の助けを借りて行ってもよい。</p>

コミュニケーション能力指標	<p>【住まい】</p> <p>1-a. 各部屋の(台所、トイレ、寝室、居間など)の名称を、言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>1-b. 部屋のなかにあるもの(机、ベッド、本棚など)を言ったり、聞いて理解したりできる。</p> <p>1-c. 自分が住んでいる所(自宅か学校の寮か、何階か、一軒家かなど)について、言ったり尋ねたりできる。</p>
	<p>【日常生活より】</p> <p>1-a. 1日の生活の基本的なあいさつができる。</p> <p>★言語領域の「できる」の目標を設定する際に参照した指標。他の領域の目標設定とも連動している。数字は【言語レベル-指標表番号】を表示している</p>

II 評価

学習を助けるための評価 (形成的評価)	目標達成度を測る全体的評価(総括的評価)
<ul style="list-style-type: none"> ◆ 不動産ちらしの写真や間取り図を見ながら、どういう部屋かについて説明する。また説明を聞いて該当する写真や図を答える。(発音の正確さ、表現の適切さ、情報量、理解度) ◆ 我が家の部屋の種類と主に利用する人、利用する頻度のチェック表を作って発表する。(チェック表の表現や表記の適切さ、発表の聞きやすさ、情報の正確さや量) ◆ 部屋の中に「あるものベスト20リスト」を作る。(表記の正しさ、情報の適切さ、量) 	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 「我が家」を紹介するポスターを作成する。(見やすさ、わかりやすさ、デザイン、オリジナリティ) ◆ Skypeで「我が家」について発表し、韓国の高校と交流する。(挨拶、前向きな態度、効果的な発表の仕方、情報量) ◆ それぞれの家の間取りや部屋にあるものをチェックしたリストを比較・考察し、気づいたことを日本語で発表する。(聞き取りの正確さ、文化の気づき、考察力)

Ⅲ 学習活動		
プレコミュニケーション活動 (語彙・表現習得活動)	コミュニケーション活動 (学習シナリオ)	
<p>◆不動産のチラシ等を利用して、自分の好きな家の間取りを探し、どのような部屋があるか韓国語で発表し合う。【1-a,c】</p> <p>◆自分の家の各部屋と、その部屋の家族別利用頻度を表にして、グループで紹介し合う。【1-a】</p> <p>◆自分の部屋もしくはお気に入りの部屋の「あるものベスト20リスト」を日本語で作成し、辞書等を使って韓国語でどう言うか調べ、発表し合う。【1-b】</p> <p>◆家の中でよく使う挨拶ことば(おはよう、行ってきます、ただいま、いただきます、ごちそうさま、おやすみなど)は、実際にはどのように言ってるか、誰とするか、グループで話し合い、韓国語ではどう言うか調べて発表する。【日常生活:1-a】</p> <p>★【 】内は対応するコミュニケーション能力指標</p>	<p><場面状況> K高校の韓国語のクラスでは、ホームステイをする際の事前学習ポスター「ようこそ我が家へ」を作成し、韓国の交流校とSkypeを利用して「日韓の住まい」について紹介しあうことになった。</p> <p><活動の流れ> グループに分かれ、家の各部屋の名称(玄関、台所、トイレ、お風呂、寝室、居間など)や部屋にある代表的なものの名称を学習した後、模造紙に簡単な間取り図を描き、誰の部屋か、何の部屋か、どのくらいの時間を過ごすか、施された工夫(障子、漆喰の壁、地熱利用……)などがわかるような絵やイラストを描いたり、写真を貼ったりしてポスターを作る。 グループ毎に自分のポスターを見せながら、「我が家」を紹介する練習をする。家の中でよく使うあいさつことばもいくつか紹介できるようにしておく。韓国の家についても事前に雑誌やネットで調べて、簡単な質問を考えておき、それぞれの家に有りそうな物のチェックリストを予め作っておく。 先生の助けを得ながら、韓国の交流校とSkypeを利用して、グループ毎に「我が家」を紹介し合う。日韓それぞれの家の間取りや部屋にあるものをチェックしたリストで整理し、比較・考察し、気づいたことを日本語で発表する。</p> <p>ヒント☞ ◆Skypeを利用した交流ができない場合は、紹介の様子をビデオで撮影してDVDを送り合う。また、韓国に交流校がない場合は、韓国語の授業がある日本の学校に見てもらい、感想と意見をもらう。もしくは「韓国の家についても～簡単な質問を考えておく」までをする。 ◆日韓の住まいについて、簡単な韓国語と日本語でパンフレットを作成し、またホームステイをする際に何かアドバイスになることがあれば、それも記入して、必要な人に配布する。</p>	
<p><使用教材・教具> 模造紙、家や部屋の写真、パソコン、スカイプ用のカメラ</p>		
表現と表現のポイント	語彙	文化・グローバル社会事象と事象のポイント
<p><表現> 이게 우리 집 약도예요. /우리 집은 아파트 /단독주택이에요. /여기가 부엌이에요. /내 방은 2층에 있어요. /아침은 따로 따로 먹어요. /거실에서 식사해요. /저녁은 꼭 가족이 다 같이 먹어요. /내 방에는 침대,책상, 의자, 책장이 있어요. /책장에는 만화책이 많아요.</p> <p><表現のポイント> —예요/이에요. /—에 있어요.없어요 / 먹어요 /식사해요 /자요 /많아요 /적어요 /—는.은 /—에 /—에서 /우리— /내— /제— /이.그.저 /이거.그거.저거</p>	<p>집, 아파트, 단독주택, —층, 부엌, 화장실, 욕실, 거실/리빙 룸, 현관, 침실, 방, 다다미, 온돌, 침대, 책상, 의자, 책장, 옷장, 불박이장, TV, 김치냉장고, 컴퓨터, 아침, 점심, 저녁, 밤, 오전, 오후, 家族呼称(아버지, 어머니, 동생など), 挨拶ことば(다녀오겠습니다, 잘 먹었습니다など)</p>	<p><事象> ◆自分の部屋(部屋の有無、部屋にあるもの) ◆寝具 ◆座り方 ◆家の中の構造 ◆部屋の違い(畳、オンドル、フローリングなど) ◆家族の集う場所など ◆トイレ・お風呂・洗面所など ◆住居の種類(一軒家、マンション、連立住宅など) ◆家の周りの環境</p> <p><事象のポイント> ◆同じ国でも、さまざまな家があり、間取りや用途にも違いがあることに気づく。 ◆畳やオンドル、家族のライフスタイルなど、相違点と共通点を考える。</p>
教室外(人・モノ・情報)との連繋	他教科の内容との連繋	
韓国の高校、韓国語の授業を行っている日本の高校	生活科学(家庭科)	